

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の分別は市のマニュアルに沿って適切に管理、処分を行っている。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・日報により社用車の運行状況の把握や、燃費の無駄や修理などの安全管理を行っている。 ・エコアクション21の申請につき、電力、ガソリン等のエネルギー使用量をエクセルにて管理し、取り組み内容を定め削減している。 ・【予定】2026年9月までにエコアクション21の認定取得を目指す。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・建設機械は最新の排ガス対策機とし、現在リース機を使用する場合は排ガス対策機を導入している。 ・エコアクション21の申請につき、自社の温室効果ガスの排出量をエクセルにて管理し、取り組み内容を定め削減している。 ・【予定】2026年9月までにエコアクション21の認定取得を目指す。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場においては、河川・道路・砂防・下水道などそれぞれの現場に応じた環境配慮対策を講じた施工を行っている。						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・可能な限り提出書類以外は裏紙の利用を推進すると共に、書類のペーパーレス化に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5	14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場で排出する汚泥や汚水は適切な処理を行い排出をしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・物品の購入についてはリサイクル可能な商品を購入するよう徹底している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●								6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所西側の窓面にはゴーヤなどを植え、グリーンカーテンを作り冷房効率のアップと緑の創出に取組み、快適な環境作りに取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3	15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・毎週1回以上事務所周辺の道路などをごみ拾いを行い、プラスチックなどの回収を行うと共に、自社の廃棄物については再資源化を推奨している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・営業車にはハイブリッド車の導入を推進し、現場に向かう時は出来るだけ複数人の同乗により自動車の効率的運用を行っている。										9.4		11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

